

■学生企画

番号	申請者・申請団体	企画名	内容、目的等
1	国際医療勉強会 ILOHA	ILOHA STUDY PROJECT～岡山大学で学び、岡山に還す	1年間1テーマ(医療に関するもの)を決め、現場(海外を予定)での経験を含む学習を自主的に行い、この中で得た学びから自分の地域での問題に気づき、アクションを起こすことで自らの学びを地域に還元する。
2	OKAYAMA カタリバ PROJECT実行委員会	OKAYAMA カタリバ PROJECT	岡山県内の高校へ出張授業を行い、岡山の様々な問題を通して、「自分の地域をきっかけにして、世界を知り、自分の将来を真剣に考える」機会を高校生に提供する。
3	岡山大学ベンチャー研究会OUVL	岡山大学公式Facebookから盛り上げよう	岡山大学公式Facebookの投稿内容を充実させ、地域の方々等に今まで以上に岡山大学の魅力をPRする。「大学別Facebookページいいねランキング」でTOP10入りが目標。
4	岡山アグレクス	野菜づくりで絆づくり	牛窓町において、留学生も含め農作業を体験し、農業者と交流を行う。これらの活動を通して、「食育」への関心を高め、自然の恵みに感謝し自らの健康や食生活について見直すきっかけをつくる。
5	Energy Via Okayama	美咲町小原地区と大学生が「協同」した「皆が一員の家」計画	農地やコミュニティ機能の担い手不足が深刻な美咲町小原において、「むらしごと」活性化の誘導を実施する。空き家利用による拠点(「皆が一員の家」)の整備、実効的な農業体験、地域援農支援、中山間マルシェとして学生農産物販路の開拓等を行う。
6	地域交流プロジェクト	瀬戸内市裳掛地区再生プロジェクト	過疎化の問題を抱えている裳掛地区の活性化、人口増加を目指し、学生と地域で協力し合い様々な活動を行っていく。「情報発信」、「農地の再生」の2つから活動を始める。
7	MACHI FES	MACHI FES	石山公園において、他大学の学生とも協力し、「学生を中心とした若者の連携・協働による街の賑わい創出」を目指す。カフェ、フリーマーケット、ステージイベント、作品展示等を行う。
8	Li☆Luck	岡山大学七夕祭/岡山大学うるのかむデー	「大学と地域との交流」、「学生間の繋がりを広げる、深める」、「自己啓発」を目的として、七夕祭・うるのかむデーにおいて、企画立案、準備、運営を行う。
9	だっぴ50×50実行委員会	「働き方百科」進路を考える若者が働き方・生き方に出会えるトークイベント だっぴ50×50～2014～	進路や就職を考えている若者が、自分なりの働き方や社会への関わり方をしていく社会人とつながる”場”を作ることで若者に生き方や働き方を軸に就職を考えるきっかけを提供する。
10	満月BAR実行委員会	満月BAR	満月の夜の西川緑道公園において、「おしゃれ」にフードやドリンク、音楽を楽しめる空間を作ることで、岡山男子のおもてなし力を高め、賑わいを作り、若者が街を作っていくこと等を目指す。
11	おかやまバトン	おかやまバトン 夏プロジェクト	岡山大学と地域、岡山と被災地をつなぐ、被災地支援活動。福島の子供達による日本舞踊の公演、「おかやま桃太郎祭」の”うらじゃ”参加等を行う。
12	おかやま百年構想	奉還町ファジストリート計画	奉還町商店街へファジアーノ岡山に関する掲示板、タペストリー等を設置し、市民の方々にクラブへの関心や地元への愛着につなげる。
13	社会科教育講座大学院	市民と学ぶ！岡山の課題発見教育プログラムの開発	市民と一緒に学ぶことができる教育プログラムを将来教職を志す学生と市民の協働作業で開発・実施を行う。協働して取り組むことで地域が一体となって支える教育のあり方を示す。
14	文学部社文文 3回生	頭島に架かる希望の橋ーその今と未来を見つめてー	2年後に本土との橋が完成する頭島について、現状と橋が完成した後の生活の変化を調査するため、フィールドワークを行い、島の現状や課題等を探り、解決策を考える。
15	地域創造研究部たんぽぽ	総社市地域包括ケア	大学と地域が協働したまちづくりのあり方について、地域の方々と意見交換等しながら実践を通して考えていく。ワークショップで出された意見等を基に、協働して行えるプランを考え、実施していく。

■職員企画

番号	申請者	企画名	内容、目的等
1	付属図書館(図書職員) 大園 隼彦	まちなか連想ビブリオバトル	参加者がお勧めの図書を紹介し、オーディエンスの投票により一番読みたい本を決定するイベントを行う。大学の教養教育の教科書・参考図書の1冊を課題図書とすることで、教養教育の内容を広報し、体感してもらう。
2	工学部創造工学センター技術支援部門(技術長) 小郷 義久	子ども科学実験教室”まちなかキャンパス城下ステーション”	冬休み中に「城下ステーション」を会場として、小学生向けの実験教室を開催。子供達に科学を身近に感じてもらう、興味を持ってもらう。
3	教育学部(技術補佐員) 坂本 清美	大学発 食育を通して人を学ぶ会	食をテーマに、学びの場を作り、地域の活性化を促進することを目的とする。地酒、お米をテーマに講演、ワークショップ等を行う。
4	財務部(財務企画課長) 荒木 秀治	岡山大学発「防災を自分ごととして考える」Trigger Project	映画「ガレキとラジオ」上映会をきっかけに東日本大震災被災地の現状について考えること及び岡山県内での様々な活動について学ぶことを通じて岡山大学から岡山県へ災害は他人事ではなく自分の問題だという意識の醸成を目的とする。